科目名	児童臨床心理学					開講 キャンパス	神 埼
担当者	西 村 喜 文						
開講年次	4	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	子ども達の心理的葛藤のルーツは乳幼児期までその源をさかのぼるものであることは多くの研究者からも論じられている。そこで、本講座では、児童期だけに限定せず乳児期から思春期・青年期までの心理的問題について取り上げ、児童期・思春期・青年期の行動について臨床心理学的視点から理解する。また、児童期・思春期・青年期の臨床心理学的アプローチについて、その理論、方法についても学習する。						
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 児童・生徒の望ましい発達援助のための課題について理解する。 2) 児童期の発達とその心理的問題について理解する。 3) 思春期の発達とその心理的課題について理解する。 4) 児童期の心理的支援について理解する。 5) 思春期の心理的支援について理解する。 6) 学校カウンセリングについて理解する。 7) 児童期の臨床心理学的アプローチについて理解する。 8) 思春期の臨床心理学的アプローチについて理解する。 						
学習方法	協同グループ学習。毎回学習課題を与え、グループで調べ発表する形をとる。						
テキスト及 び参考書等	参考書・「児童の臨床心理」松村茂治（日本放送出版協会）・「思春期・青年期の心理臨床」佐藤仁美、西村喜文（日本放送出版協会）						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	○	○	○	○	○	60	
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○	20	
授業態度	○	○	○	○	○	5	
受講者の発表	○	○	○	○	○	10	
授業への参加度	○	○	○	○	○	5	
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	ガイダンス（授業の進め方）						
第 2 週	児童臨床とは						
第 3 週	児童期の心の発達						
第 4 週	児童期の心の発達とその課題						
第 5 週	児童期の心理的問題（不適応行動Ⅰ）						
第 6 週	児童期の心理的問題（不適応行動Ⅱ）						
第 7 週	児童期の心理的問題（不適応行動Ⅲ）						
第 8 週	思春期の心理的問題（不適応行動Ⅰ）						
第 9 週	思春期の心理的問題（不適応行動Ⅱ）						
第 10 週	思春期の心理的問題（不適応行動Ⅲ）						
第 11 週	学校カウンセリング						
第 12 週	児童期・思春期の心理臨床援助①						
第 13 週	児童期・思春期の心理臨床援助②						
第 14 週	児童期・思春期の心理臨床援助③						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	【授業外学修について】 各グループで、課題に対してのレポート発表をしてもらい授業を展開していく。各回終わりに課題を課すので、次回の授業時までによく考え、グループで話しあいしておく。						